



アントレプレナーシップ推進大使講演会

自分の人生をどれだけ自分で決められるか ～起業家の考え方を学ぶ～

2年普通科総合的な探究の時間・総合科学科理数探究の授業の一環として、8月29日にアントレプレナーシップ推進大使講演会を行いました。文部科学省から「アントレプレナーシップ推進大使」として本校に派遣されたのは、株式会社和談 代表取締役社長の吉崎 亮介氏です。文部科学省では、**アントレプレナーシップを「新たな価値を生み出していく精神」と**捉え、自ら社会課題を見つけ、他者と協働しながら解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける、アントレプレナーシップ教育を推進しています。本校では探究活動のさらなる活性化のため、起業経験者からアントレプレナーシップを学ぶことにより、課題解決活動の充実を図ることが今回の目的です。



Profile
自己紹介・経歴

エンジニア

- 2007～2014 舞鶴高専
- 2014～2016 京都大学大学院

起業家

- 創業者 1人～99人
- 2017～2023 株式会社キカガク 代表取締役
新事業・新コミュニケーションを創出
- 2024～ 株式会社和談 代表取締役社長

その他

- 2022～2024 京都プライム上場企業役員
株式会社エイチーム 社外取締役
ベンチャー投資家
- 2024～ 株式会社RY Capital 代表取締役
日本を代表する55人委員会
文部科学省アントレプレナーシップ推進大使

吉崎さんは挫折を経験しながらも、舞鶴高専から京大大学院への進学、入社したベンチャー企業の社長との出会いを通して、起業家になろうと決心しました。

吉崎さんは起業家の考え方がよくわかるキーワードを教えてくださいました。ひとつは「**徹底的に観察すること**」です。起業家には日頃から町の様子をよく見て、仮説を立てて考える習慣があるそうです。次に、「**イシュー（問題）から始めよ**」です。解決策の質を高めるには、まず問題設定の質を高めることが重要であるという指摘です。3つめに「**逆境思考**」です。不幸な出来事に遭遇しても、ただ嘆いているだけではなく、事実を冷静に受け止め、次の自分に何が生かせるかを考えることが大事だと熱弁されていました。このように、「**自分の人生をどれだけ自分で決められるか**」ということが、**アントレプレナーシップ（起業家精神）の第一歩である**ということを力強く訴えられていました。2年生の生徒にも吉崎さんの熱意が伝わったようで、みなさん食い入るような目でお話を聴いていました。

《吉崎さんお薦めの本》

- ・安宅和人著（2010）『イシューからはじめよ ― 知的生産の「シンプル」な本質』英治出版
- ・ロバート・キヨサキ著（2000）『金持ち父さん 貧乏父さん』筑摩書房

アントレプレナーシップ推進大使講演会に参加して～2年生からの声～

そのときの自分の意思を大切に、いろいろなことに挑戦して行くことも大切だとわかった。

失敗を恐れて挑戦しないのではなく、失敗するから成長できるのだと前向きに考えて、いろんなことに挑戦して行きたい。

どんな問題を解くかの戦略を自分で決めてから解き進めることが大切だと思った。失敗を前向きに捉える逆境思考はとても大切な考え方だと思う。他人の評価ばかりを気にするのではなく、自分の人生を自分で決められるようになりたいと思った。

